

アーツ・チャレンジ2010～新進アーティストの発見 in あいち～

事業報告書

新進アーティストの支援を図るため、若手芸術家に活動発表の場を提供することにより、将来、愛知県から全国や世界へ羽ばたくアーティストの輩出を目指し、次の事業を実施した。

1 美術部門

応募のあった111企画（個人107、グループ4）の中から、応募書類・資料をもとに13企画（個人12、グループ1）を選考し、本事業のキュレーターである加藤義夫氏のアドバイス、コーディネートにより作品制作を行い、愛知芸術文化センターのアートスペース、フォーラム（吹き抜け）などの様々な空間を使って、作品を展示した。

募集期間	平成21年7月6日（月）～9月16日（水）
応募件数	111企画（個人107、グループ4）
選考	平成21年10月3日（土）、4日（日）
記者発表	平成21年10月30日（金）
制作	平成21年11月～平成22年2月
展示期間	平成22年2月16日（火）～2月28日（日）
アーティスト	笠井麻衣子（12階アートスペースG北/作品名「土の中の栄養、目の前にある物語」） 成田亜衣子（12階アートスペースG南/作品名「瞼の奥の巣」） 立原真理子（12階アートスペースH/作品名「コタツツジの暮らし」） 川口珠生（11階展望回廊/作品名「イースト ミート ウェスト in カコ と ミライ」） 小板橋慶子（11階展望回廊/作品名「Life-size」） 藤永覚耶（2階フォーラム/作品名「foliage」） 鎌田あや（B1階南玄関階段上部踊場/作品名「そして、なお 星になり続ける」） 河村るみ（B2階アートスペースX/作品名「- cave of existence - 実存性の洞窟 -」） 谷村彩（B2階通路展示ケース/作品名「untitled」） ¥1980（イチキューパ）（B2階通路西側/作品名「いらっしやいませ¥1980」） 川見俊（B2階エレベーター付近通路壁/作品名「地方の家と石仏のフォークロア」） 福田良亮（B2階エレベーター付近通路壁/作品名「ふるさとの風景」） 田和篤（B2階フォーラム/作品名「Rottencube」）
選考委員	市川政憲／加藤義夫／宮村周子／本江邦夫／山本さつき

- 作品見学ツアーを2月16日（火）、21日（日）の2回実施した。
- 選考委員によるシンポジウムを2月20日（土）に開催した。
- 美術部門関連事業として、愛知県美術館主催のテーマ展示において、前回美術部門入選の宮永春香氏による次の展示を実施した。

現代美術の発見IV 宮永春香「陶の表象—そら虚と骨からFEITICOまで—」
フェティッシュ
 （会期：平成21年11月6日（金）～12月20日（日））

2 音楽部門

3部構成による演奏を行った。

公演：平成22年2月13日（土）

愛知芸術文化センター愛知県芸術劇場コンサートホール

○ 第1部

愛知県美術館所蔵作品をモチーフとする創作音楽作品を公募、選考し、選ばれた3名のアーティストの作品を、愛知県芸術劇場コンサートホールで公演を行った。

募集期間	平成21年7月6日（月）～10月27日（火）
応募件数	7作品（7名）
選考	平成21年11月27日（金）
記者発表	平成21年12月11日（金）
アーティスト	下村美佐（作品名「ミール・ナイフ」） モチーフとした作品：モーリス・ルイス「デルタ・ミュー」 演奏：下村美佐（ピアノ）
	細井博之（作品名「ピアノのための Cite B」） モチーフとした作品：村井正誠「C i t e B」 演奏：山下 萌（ピアノ）
	三留 丈樹（作品名「TANGERIA 2」） モチーフとした作品：エルンスト・バルラッハ「忘我」 演奏：知見寺 武（ヴァイオリン1）、迫田 圭（ヴィオラ） 桜田 悟（ヴァイオリン2）、堀江牧生（チェロ）
選考委員	北爪道夫／中川俊郎／藤田六郎兵衛

○ 第2部

公募した高校生と名古屋フィルハーモニー楽員による合同アンサンブルを行った。

アンサンブル	金管楽器 （曲目）ヘーゼル：金管十重奏曲「3匹の猫」
	木管楽器 （曲目）R. ショトラウス：13管楽器のためのセレナード 変ホ長調作品7
	弦楽器 （曲目）チャイコフスキー：弦楽セレナード ハ長調 作品48より第1楽章

○ 第3部

新進気鋭の若手アーティストと名古屋フィルハーモニーの共演。

アーティスト	アーティスト：川瀬賢太郎（指揮） シン・ヒヨンス（ヴァイオリン） ※2008年ロン＝ティボー国際コンクール優勝 曲 目：チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 作品35
--------	---